

英語科研究構想図

生徒の実態

- ・段階的な学習を行うことで、一単位時間や単元内での知識及び技能の習得は概ねできている。一方で、年間を通した知識及び技能の定着には課題が見られる。
- ・目的や場面、状況に応じて自分の考えを整理し、発信できる力は徐々に育ってきているが、相手意識をもった内容や表現、伝え方にはまだ弱さを感じる。
- ・英語を将来活用したいという意欲をもつ生徒は多い。一方で、英語自体を難しいと感じ、英語を話したり書いたりするアウトプットに苦手意識をもっている生徒が一定数いる。

英語科研究主題

コミュニケーションを通して、人との繋がりを楽しめる生徒の育成

研究仮説

単元を通して身に付けたい表現と既習内容のつながりを大切にした指導を繰り返していくことで、知識の定着を図り、相手意識や目的意識を大切にした言語活動の中で、内容を深めながら、表現の幅を広げていけば、伝え合う楽しさや喜びを感じる姿につながり、主題に迫ることができる。

研究内容1 指導計画の工夫

- (1) 単元で身に付けたい内容と活用したい主な既習の言語材料を整理した単元構造図の作成
- (2) 習得した言語材料や学びの成果を可視化した見通し表の作成

研究内容2 指導方法の工夫

- (1) 学び方を選べる場を設定し、表現をより豊かにするための指導の工夫
- (2) 相手意識、目的意識をもとに、自分の考えを再構築し、内容を深める発問の工夫

目指す生徒の姿

- ・英語の音声、語彙、文法の知識を積み重ね、伝えたい内容によって自分で選択して活用することができる。
- ・自分の意見や考えを英語で形成・整理・再構築し、目的や場面、状況などに応じて、知識や経験、情報を活用することができる。
- ・目的や場面、状況などに応じて相手意識をもって、主体的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。

第3学年 英語科学習指導案

授業者 船渡 政利

1. 日 時 令和7年11月8日(土) 1時間目
2. 場 所 3年1組教室
3. 学年・組 3年1組(30名)
4. 単 元 名 Unit5 What makes a good leader?
5. 単元について

○教材観

本単元では、インドの民族独立運動の最高指導者であるガンディーを扱った内容である。ガンディーの非暴力を基本とした独立運動の内容を通じて「理不尽なことに屈しない心」「暴力に訴えない行動」について考えさせたい。また、ガンディーがリーダーとして果たした功績から、「リーダーとは何か」「リーダーシップに必要なものは何か」などについても考えさせたい。さらに、キング牧師やネルソン・マンデラ、ダライ・ラマなど、ガンディーの意志を受け継ぐ人物の功績を授業で取り上げることで、ガンディーが残した遺産がどれだけすごいことであるかを理解できるようにしたい。

言語材料としては、関係代名詞の諸用法が扱われている。これまで、前置詞による後置修飾、現在分詞・過去分詞による後置修飾などを学習してきたが、それらの知識を振り返りながら関係代名詞の学習に取り組ませたい。既習事項と関連させながら、人やものをより具体的に説明する方法について理解させると共に、自己表現で適切に活用できる技能を身に付けさせたい。

単元の最後に「私が考える最高のリーダー」を紹介する活動を通して、人物を紹介する際に、関係代名詞の働きや語法を適切に活用し、表現できるようにしていきたい。

○生徒観

本学級の生徒は、生徒一人一人が課題に向かい、意欲的に授業に取り組むことができる。英語を使ってALTと楽しく会話をしたり、自信をもって表現をしたりする生徒が多い中、英語を苦手とし、日本語でなら自分の考えを伝えられるが、英語で伝えることは難しいと感じる生徒もいる。このような学級の実態があるからこそ、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図ることができるよう手立てを打っていききたい。そして、全ての生徒がテーマや課題に沿って、自分の考えや気持ちを伝えられるようにしたい。

○指導観

内容面

本単元の導入で、「あなたにとってのリーダーとは」という題材で、プレゼンテーションを行った。生徒たちは日本の首相や海外で活躍するスポーツ選手、学校の先生、学級のリーダー、家族など様々な人物を紹介する姿が見られた。このように、生徒にとって「リーダーの基準」が曖昧で、差があるからこそ、ガンディーや彼らの意思を引き継ぐ偉人たちの功績を深く読み込み、「本当のリーダーとは何か」「リーダーシップに必要なものとは何か」を考えるきっかけにしたい。

言語面

世界の偉人たちの生涯や功績を理解したり、伝え合ったりする活動を通して、関係代名詞の用法の理解を深め、人やものについて具体的に説明することができる知識及び技能を身に付けさせたい。また、人物を比較する際に、既習事項である比較の表現などを使って自分の考えを伝えられるようにしたい。さらに、学級の実態に合わせて、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る指導をしていきたい。

個別最適な学びでは、単語の意味が書かれたヒントカードや概要を読み取りやすくするピクチャーカードを準備したり、文字が苦手な生徒に対し、音声や動画の資料を用意したりする。また、教科書にはない+αの英文を載せることで英語が得意な生徒の好奇心を高める工夫をする。それらをいつでもどこでも使うことができるように、ICTを活用し、生徒が課題達成に向けて、自分が必要なものを獲得できる状態にしておく。同時に協働的な学びでは、自分が獲得した情報を多くの生徒と共有できるように、ペア活動を積極的に行う。また、「英語で言いたいけど言えない」表現を解決するために、気軽に質問ができるALTゾーンを配置したり、生徒が先生役となり、苦手な生徒に自分から教えるミニティーチャーという制度を導入したりした。

このように、生徒の能力に合うような資料を準備したり、困っている生徒を助け合える制度を導入したりすることで、自分の考えや気持ちを自信をもって伝えられる生徒が育成できると考えている。

6. 単元の目標と評価規準

○単元の目標

ガンディーの功績を知り、平和や人権の意味について理解し、「本当のリーダーとは何か」「リーダーシップに必要なものは何か」を考え、自分の言葉で伝えたり書きまとめたりすることができる。(80語程度)

○評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日本のリーダーを詳しく紹介するために、名詞を修飾する文と関係代名詞 who, that [which] (主格・目的格)を用いた文の形・意味・用法を理解し、正しく使っている。	ガンディーの功績を知り、平和や人権の意味について理解し、「本当のリーダーとは何か」「リーダーシップに必要なものは何か」を考え、自分の言葉で伝えたり書きまとめたりしている。	ガンディーの功績を知り、平和や人権の意味について理解し、「本当のリーダーとは何か」「リーダーシップに必要なものは何か」を考え、自分の言葉で伝えたり書きまとめたりしようとしている。

単元構造図 単元名:3年生 Unit5 What makes a good leader? (NEW HORIZON)

<CAN-DO-LIST>

社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができる。(～80語程度)

<単元で付けたい力>

知識及び技能

日本のリーダーを詳しく紹介するために、名詞を修飾する文と関係代名詞 who, that [which] (主格・目的格)を用いた文の形・意味・用法を理解し、正しく使うことができる。

思考力、判断力、表現力等

ガンディーの功績を知り、平和や人権の意味について理解し、「本当のリーダーとは何か」「リーダーシップに必要なものは何か」を考え、自分の言葉で伝えたり書きまとめたりすることができる。

学びに向かう力、人間性等

ガンディーの功績を知り、平和や人権の意味について理解し、「本当のリーダーとは何か」「リーダーシップに必要なものは何か」を考え、自分の言葉で伝えたり書きまとめたりしようとしている。

単元の課題 海外の人たちに誇れる日本のリーダーを紹介しよう

【生徒作品例】

Shohei Otani is a Japanese leader that I respect. I have three reasons. First, he won the MVP in the American Major League. He can be both a pitcher and batter. Second, he has high goals and continues to play hard. Third, his words have power. Do you know his famous words? He said "Stop dreaming" in the final of WBC. He left many legends in the baseball world. So I think he is a leader in Japan.

第12時(パフォーマンステスト) 話すこと[やり取り] (ウ) 思考・判断・表現

ALTに海外の人たちに誇れる日本のリーダーの生涯や功績、その人物を選んだ理由などを即興的に伝える。

第10,11時(単元まとめの活動) 書くこと(ウ) 思考・判断・表現

海外の人たちに誇れる日本のリーダーの生涯や功績を書きまとめたポスターを作成し、仲間やALTに紹介する。

思考力、判断力、表現力等 【本時】

第9時(Unit Activity)

ガンディーの生涯や功績をもとに、「本当のリーダーとは何か」や「リーダーシップに必要なものは何か」についてALTや仲間と議論し合う。

思考力、判断力、表現力等

第8時(Read and Think I ③)

平和や人権の大切さを考えるために、ガンディーの生涯と功績について書かれた文章の詳細を読み取り、ガンディーが多くの人々に尊敬されている理由を自分の言葉で伝える。

知識及び技能

第7時(Read and Think I ②)

インドの人々が受けていた差別の状況や、差別に対してどのように戦ったかを理解する。

第6時(Read and Think I ①)

南アフリカでインドの人々が当時受けていた差別の状況やガンディーの言動について理解する。

知識及び技能

第5時(Part2 ②)

関係代名詞 who (主格)を用いてお気に入りの人物を具体的に説明したり、書きまとめたりする。

第4時(Part2 ①)

ガンディーがどのようにインドの独立に向けて戦ったかを理解し、ガンディーのすごさを仲間やALTに伝える。

知識及び技能

第3時(Part1 ②)

名詞を修飾する文を用いてお気に入りの人物を紹介したり、書きまとめたりする。

第2時(Part1 ①)

ガンディーが多くの人々に尊敬されている事実を読み取り、ガンディーについての紹介文を書きまとめる。

第1時(オリエンテーション)

世界で活躍したリーダーを紹介するALTの発表を聞き、自分にとってのリーダーを仲間やALTに伝える。

<この単元で活用したい主な既習の言語材料>

- ・[1年 Unit 2] 助動詞 can (例: He can be both a pitcher and batter.) 【まとめの活動】
- ・[1年 Unit 5] 三人称単数現在形 (例: He has high goals and...) 【まとめの活動】
- ・[2年 Unit 2] 接続詞 (例: I think that he is a leader...) 【Unit Activity】
- ・[2年 Unit 6] 比較 (例: Gandhi is the best leader because...) 【Unit Activity】

3年生 Unit 5 What makes a good leader? (NEW HORIZON) 見通し表

① Unit 5 の目標

海外の人たちに誇れる日本のリーダーを紹介しよう

② Unit 5 の授業計画

計画	学習内容	習得したい表現	評価規準	評価の観点			振り返り／学んだこと
				知技	思判表	主体	
1	オリエンテーション 単元の見通しをもつ。	紹介文の導入 The person I respect...	世界で活躍したリーダーを紹介する ALT の発表を聞き、自分にとってのリ ーダーを仲間や ALT に伝えている。			○	
2	Part 1 ① (本文) アナのガンディーに ついての紹介を聞き取 ったり読み取ったりす る。	名詞を修飾する文 Gandhi is a leader Indian people respect.	ガンディーが多くの人々に尊敬され ている事実を読み取り、ガンディーに ついての紹介文を書きまとめている。	○		○	
3	Part 1 ② (文法) 名詞を修飾する英文 を用いてクイズを出し 合う。	名詞を就職する文 He is the person people can see in the Gifu Station.	名詞を修飾する文を用いてお気に 入りの人物を紹介したり、書きまとめ たりしている。	○		○	
4	Part 2 ① (本文) 純とアナのガンディ ーについての会話を聞 き取ったり読み取った りする。	関係代名詞 who Gandhi is a man who has influenced a lot of people.	ガンディーがどのようにインドの独 立に向けて戦ったかを理解し、ガンデ ーのすごさを仲間や ALT に伝えている。	○		○	
5	Part 2 ② (文法) 関係代名詞 who (主 格)を用いて陽南中の先 生を紹介する。	関係代名詞 who Mr. Inaba is a teacher who is loved by students.	関係代名詞 who (主格)を用いて お気に入りの人物を具体的に説明し たり、書きまとめたりしている。	○		○	

計画	学習内容	習得したい表現	評価規準	評価の観点			振り返り／学んだこと
				知技	思判表	主体	
6	Read and Think I ① 南アフリカでインドの人々が当時受けていた差別の状況やガンディーの言動について理解する。	関係代名詞 that (主格) This is a movie that makes people happy.	南アフリカでインドの人々が当時受けていた差別の状況やガンディーの言動について理解している。	○		○	
7	Read and Think I ② インドの人々が受けていた差別の状況や、差別に対してどのように戦ったかを理解する。	関係代名詞 that (目的格) This is a picture that I found on the internet.	インドの人々が受けていた差別の状況や、差別に対してどのように戦ったかを理解している。	○		○	
8	Read and Think I ③ ガンディーの生涯と功績について書かれた文章の詳細を読み取り、ガンディーが多くのの人々に尊敬されている理由を自分の言葉で伝える。	関係代名詞 who, that Gandhi is the person that people respect because...	ガンディーが多くのの人々に尊敬されている理由を自分の言葉で説明している。		○	○	
9	Unit Activity 【本時】 ガンディーの生涯や功績をもとに、「本当のリーダーとは何か」や「リーダーシップに必要なものは何か」について ALT や仲間と議論し合う。	関係代名詞 who, that I think a leader is someone who can work for peace.	ガンディーの生涯や功績をもとに、「リーダーに必要なもの」を仲間や ALT に説明している。		○	○	
10	まとめの活動① 海外の人たちに誇れる日本のリーダーの生涯や功績を書きまとめたポスターを作成し、仲間や ALT に紹介する。	関係代名詞, 比較など The person I respect is Sugihara Chiune. He is the best leader because...	日本のリーダーの生涯や功績を書きまとめたポスターを作成している。	○	○	○	
11	まとめの活動② 海外の人たちに誇れる日本のリーダーの生涯や功績を書きまとめたポスターを作成し、仲間や ALT に紹介する。	関係代名詞, 比較など The person I respect is Sugihara Chiune. He is the best leader because...	海外の人たちに誇れる日本のリーダーを仲間や ALT に紹介している。	○	○	○	
12	パフォーマンステスト ALT に海外の人たちに誇れる日本のリーダーの生涯や功績、その人物を選んだ理由などを即興的に伝える。		ALT に海外の人たちに誇れる日本のリーダーの生涯や功績、その人物を選んだ理由を紹介している。	○	○	○	

③ Unit 5 で活用したい既習表現

・ 助動詞 can	(例: He can be both a pitcher and batter.)	【1 年生 Unit 2】
・ 三人称単数現在形	(例: He has high goals and...)	【1 年生 Unit 5】
・ 接続詞	(例: I think that he is a leader...)	【2 年生 Unit 3】
・ 比較	(例: Gandhi is the best leader because...)	【2 年生 Unit 6】

7. 本時展開案

(1) ねらい

ガンディーの生涯や功績をもとに、「本当のリーダーとは何か」や「リーダーシップに必要なものは何か」について ALT や仲間と議論し、自分が考える「リーダーに必要なもの」を仲間や ALT に伝えることができる。

(2) 指導展開案 (9/12)

生徒の学習活動	評価規準・指導、援助・研究との関わり
1. Word Quiz 【 non-violent / legacy 】 STD① : This is Gandhi's way of fighting. His fighting style is not to hit and kick. It is a peaceful way. STD② : This was left by famous people. It has influenced famous leaders, such as Martin Luther King, Jr. ・前時までに学んだガンディーの功績について振り返る。	評価規準 思考・判断・表現 ガンディーの生涯や功績をもとに、「本当のリーダーとは何か」や「リーダーシップに必要なものは何か」について ALT や仲間と議論し、自分が考える「リーダーに必要なもの」を仲間や ALT に伝えていく。
2. ALT の発言から本時の課題をつかむ ALT : Is Gandhi a famous leader in the world? STD : Yes. Thanks to him, India became independent. ALT : What do you think is necessary for leaders? What kind of leader is the best?	話すこと [発表] ウ
3. 課題を確認する Today's Aim 私たちににとってリーダーに必要な力とは何だろうか	・1では、R&T で学んだ単語を Word Quiz で使うことで、ガンディーの功績を振り返る。
4. Small Talk① ALT's Question① Are they leaders? Why do you think so?	・2では、ALT から疑問を問いかけることで、相手意識を明確にし、英語を使う必然性を生み出す。
      Student A Do you think Trump is a leader? Student B Yes, he is. He is a leader because he has the power to run the country. What do you think?	・4では、様々なリーダーの写真を使うことで、リーダーとしてふさわしいかや素質を考えるきっかけにする。 ・5では、抽象的な質問を投げかけることで、生徒が自由に自分のリーダー像を伝えられるようにする。
・写真の人物がリーダーか、どうしてそう思うのかをペアで話し合う。 ・話し合った内容を全体で共有する。 ・Sharing Time 「言いたいけど言えない表現」を共有する。	【研究内容2-(1)】 <個別最適な学び> 5では、様々なジャンルのリーダーの情報を準備し、リーダーにとって必要な力を整理できるようにする。
5. Small Talk② ALT's Question② What do the leaders need? ・ペアで自分の考えや気持ちを伝え合う。 ・Sharing Time 「言いたいけど言えない表現」を共有する。	【研究内容2-(1)】 <協働的な学び> 5では、ペア活動やミニティーチャー制度を取り入れたり、ALT ゾーンを設置したりすることで、全員がリーダーにとって必要な力を伝えられるようにする。
6. Small Talk③ ALT's Question③ Why is Gandhi a leader? ・Gandhi fought for Indian independence. ・He never used violence. ・He is respected by a lot of people. ・He has influenced famous leader in the world. ・全体でガンディーのすごさを確認する。	【研究内容2-(2)】 <深めの発問> 6では、もう一度ガンディーに立ち戻ることで、リーダーとしての資質を全体で考え、共有する。 ・7では、自分の理想のリーダーを考え、書きまとめることで、単元まとめの活動に繋げていく。
7. Write ALT's Request What do the leaders need? ・自分にとって理想のリーダーを考え、書きまとめる。 I think a leader is someone who can work for peace and for others. So, Sugihara Chiune is the best leader for me. He saved a lot of Jewish lives. He continued to work for the Jews and for peace. He is still loved by many people in the world.	【研究内容1-(2)】 <内容面と言語面の積み上げ> 7では、毎時間の振り返りを通して、本時の成果を実感したり、単元のゴールへの繋がりを感じられたりするようになる。

1. 日 時 令和7年11月8日(土) 1時間目
2. 場 所 3年3組教室
3. 学年・組 3年3組(30名)
4. 単 元 名 Unit 6 What does it mean to be a global citizen?
5. 単元について

○教材観

本単元は、日本がアフガニスタンにランドセルを送っている話を通して、世界とのつながり、支え合うことの大切さについて考える単元である。世界では学校に通えずに、読み書きすらできない子どもたちが多く存在していること、これらの子どもたちに対する国を越えて支援しようとする取組があることについて伝えたい。また、日本は多方面にわたり海外の国々と相互依存している。他国との関係を健全に保ち、自分には何ができるかを考えさせたい。

言語材料としては、主に仮定法が扱われている。仮定法(I wish I could [had] ...)を用いると、「こうだったらいいのにな」という願い事を伝えたり、仮定法(If+主語+were..., ~.)を使うことで、現実とは異なる架空の話をもとに自分の考えや気持ちをより具体的に伝えたりすることができる。これらの表現を活用できるようにするために、日本の子どもたちが知らない世界の現状を取り上げ、架空の状況について説明したり、事実に対する自分の気持ちや考え、自分にできることを発信したりすることができる生徒を育成したい。

○生徒観

本学級は、課題に対して前向きに取り組める生徒が多い学級である。しかし、英語を苦手とし、自分の考えや気持ちを伝えることに抵抗がある生徒がいる。その要因としては、英語でどう表現すればよいか分からない、基礎的・基本的な力が十分身に付いていないことが考えられる。そこで、小集団(ペアやグループ)での学習形態を多く取り入れたり、ALTと直接会話をしたりすることで相手意識を大切にしたい場面を多く設定してきた。また、対話活動の中で、ALTに伝えたいけれど、英語でどう表現するか悩む生徒もいる。そのために、表現の困り感を全体で共有する中間交流を設けている。基礎的・基本的な知識及び技能を定着させ、目的や場面、状況を明確にし、相手意識を大切にしたい授業を行うことで、生徒が自信をもって自分の考えや気持ちを伝えられるようにしたい。

○指導観

内容面

本単元では、中学3年間の最後の単元として、国際協力、相互協力、相互援助というテーマを取り上げている。具体的な内容としては、日本からランドセルをアフガニスタンに送るという実際の取組を紹介している。本時では、単元の導入として貧困によって学校へ通えない世界の子どもたちの動画を視聴し、その動画のタイトルを考える活動を行う。そのタイトルにした理由や私たちにできることについて、自分の考えや気持ちを伝えられる生徒を育成したい。そして、本時の学びを通してGlobal Citizenへの第1歩を踏み出そうとしていることに気付かせたい。また、この単元を通して、世界では学校に通えずに、読み書きすらできない子どもたちが今でも多く存在し、これらの子どもたちを国境を越えて支援する意義について考えさせたい。

言語面

SDGs達成を目指すために、世界の現状を理解し、その現状に対する自分の考え、気持ちを含めて、自分ができることを提案する活動を通して、仮定法(I wish I could [had] ...)を使い、現実とは離れた状況の中で自分の願いを伝えたり、仮定法(If+主語+were..., ~.)で異なる架空の話をもとに自分の考えや気持ちをより具体的に伝えたりする知識及び技能を身に付けさせたい。

本時では、自分で黙々と学んだり、仲間やALTと対話しながら学んだりする場を設定し、生徒が考える方法を自己選択できるようにする。また、Sharing Timeを位置付け、「言いたいけど言えない表現」を全体で共有することで、個別最適な学びと協働的な学びの一体化な充実を図っていく。その過程を通して、生徒が習得する表現をより豊かにし、知識及び技能を定着できるようにしたい。

6. 単元の目標と評価規準

○単元の目標

SDGs達成を目指すために、世界の現状を理解し、その現状に対する自分の考え、気持ちを含めて、自分にできることを提案することができる。(60語程度)

○評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
SDGsの考えを広げ、目標達成に近付くために、仮定法と主語を説明する関係代名詞を用いた文の形・意味・用法を理解し、正しく使っている。	SDGsの考えを広げ、目標達成に近付くために、国際社会の状況について書かれた文章の概要を捉え、捉えた事実と自分たちにできることを伝えている。	SDGsの考えを広げ、目標達成に近付くために、国際社会の状況について書かれた文章の概要を捉え、捉えた事実と自分たちにできることを伝えようとしている。

<CAN-DO-LIST>

社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書いたり話したりすることができる。(～60語程度)

<単元で付けたい力>

知識及び技能

SDGs の考えを広げ、目標達成に近付くために、仮定法と主語を説明する関係代名詞を用いた文の形・意味・用法を理解し、正しく使うことができる。

思考力、判断力、表現力等

SDGs の考えを広げ、目標達成に近付くために、国際社会の状況について書かれた文章の概要を捉え、捉えた事実と自分たちにできることを伝え合うことができる。

学びに向かう力、人間性等

SDGs の考えを広げ、目標達成に近付くために、国際社会や日本の状況について、自分たちができることを伝えようとしている。

単元の課題 地球市民としての抱負を世界に発信しよう

【生徒作品例】

As a global citizen, I want to understand different cultures and help people around the world. I will learn more English because it is important to talk with people from other countries. I will also buy fair trade products like chocolate. When I buy them, I can help people working in developing countries. I want to do what I can for a fair world.

第12時(パフォーマンステスト) 話すこと[やり取り] (ウ) 思考・判断・表現

地球市民の一人としての抱負やその理由などを即興的に ALT に伝えることができる。

第10, 11時(単元まとめの活動) 書くこと(ウ) 思考・判断・表現

国を超えて助け合うことの大切さについて考えるために、地球市民の一人としての抱負を書きまとめることができる。

思考力、判断力、表現力等

第9時(Read and Think2②)

世界の人々や国々とい関係構築のために必要だということについて自分の考えを「行動宣言シート(見通し表)」に書くことができる。

思考力、判断力、表現力等

第8時(Read and Think2①)

国と国との貿易や支援だけでなく、私たち一人一人にできる活動例の一つとして挙げられる「フェアトレード商品」について、自分の考えや意見、感想を伝え合い、「行動宣言シート(見通し表)」に書くことができる。

思考力、判断力、表現力等

第7時(Read and Think1②)

国際社会の状況について書かれた文書の概要や要点をとらえ、相互依存の具体例について自分の意見や感想を発表することができる。

思考力、判断力、表現力等

第6時(Read and Think1①)

日本がアフガニスタンへ支援している取組について読み取ることを通して、国をこえて助け合うことの大切さを理解し、自分の意見や感想を「行動宣言シート(見通し表)」に書くことができる。

知識及び技能

第5時(Part2②)

現実と異なることを仮定する仮定法(If+主語+were …)を理解し、国を超えて助け合うために仮定法を使って自分の考えを表現することができる。

第4時(Part2①)

日本のランドセルがアフガニスタンの子どもたちを援助していることを理解し、国を超えて助け合うために自分にできることを書きまとめている。

第3時(Part1②)

現実とは異なる願望を表す仮定法(I wish…)を理解し、自分の願いを伝えることができる。

第2時(Part1①)

教育を受けられない子どもたちを支援する取組について理解し、自分にできることを書きまとめている。

第1時(オリエンテーション)【本時】

教育を受けられない子どもたちの現状を知り、自分にできることを仲間や ALT に伝えることを通して、「Global Citizen」についての意味を理解し、単元の見通しをもつことができる。

単元で活用したい既習の主な言語材料

・[1年生 Unit8] 不定詞 (例:I try to, I want to～)

【オリエンテーション～まとめの活動】

・[2年生 Unit2] 接続詞 (例:I think that global citizen is…)

【オリエンテーション～まとめの活動】

・[3年生 Unit3] It is … (for) + to + 動詞の原形

【Read and Think】

3年生 Unit6 What does it mean to be a global citizen? (NEW HORIZON) 見通し表

① Unit 6 の目標

地球市民としての抱負を世界に発信しよう

② Unit 6 の授業計画

計画	学習内容	習得したい表現	評価規準	評価の観点			振り返り／学んだこと
				知技	思判表	主体	
1 本時	オリエンテーション 単元の見通しをもつ。		教育を受けられない子どもたちの現状を知り, 自分にできることを仲間や ALT に伝えることを通して, 「Global Citizen」についての意味を理解している。			○	
2	Part1① 理子が見ている国際協力のキャンペーンについての広告を読み取る。	仮定法 (I wish...) ・ I wish I could go to school. ・ I wish I had pens and notebook.	教育を受けられない子どもたちを支援する取組について理解し, 自分にできることを書きまとめている。	○		○	
3	Part1② 現実とは異なる願望を表す「I wish...」を使って, 自分の願い事を発表する。	仮定法 (I wish...) ・ I wish I could go to school. ・ I wish I had pens and notebook.	現実とは異なる願望を表す仮定法 (I wish...) を理解し, 自分の願い事を仲間に伝えている。	○		○	
4	Part2① 海を渡るランドセルについて話す理子とエディの会話を読み取る。	仮定法 (If + 主語 + were ..., ~) ・ If I were you, I would ask my friends for help.	日本のランドセルがアフガニスタンの子どもたちを援助していることを理解し, 国をこえて助け合うために自分にできることを書きまとめている。	○		○	
5	Part2② 現実とは異なることを仮定する「If + 主語 + were ..., ~」を使って, できたらいいなと思うことを発表する。	仮定法 (If + 主語 + were ..., ~) ・ If I were you, I would ask my friends for help.	現実とは異なることを仮定する仮定法 (If + 主語 + were ...) を理解し, 国をこえて助け合うために仮定法を使って自分の考えを表現している。	○		○	
6	Read and Think1① 国際協力についての理子のスピーチを読み取る。	仮定法 (If + 主語 + were ..., ~) ・ If you were illiterate, you couldn't get information through books or websites.	日本がアフガニスタンへ支援している取組について読み取ることを通して, 国をこえて助け合うことの大切さを理解し, 自分の意見や感想を伝えている。	○		○	

計画	学習内容	習得したい表現	評価規準	評価の観点			振り返り／学んだこと
				知技	思判表	主体	
7	Read and Think1② 国際協力についての理子のスピーチを読み取ることを通して、自分たちにはどんなことが必要なのか考える。	自分の考えを伝える表現 ・ I think that... ・ In my opinion,...	国際社会の状況について書かれた文書の概要や要点をとらえ、相互依存の具体例について自分の意見や感想を発表している。		○	○	
8	Read and Think2① 「フェアトレード商品」について自分の意見や感想を発表する。	仮定法 (If + 主語 + 動詞の過去形, ...) ・ If I had a school backpack, I would donate it.	国と国との貿易や支援だけでなく、私たち一人一人ができる活動例の一つとして挙げられる「フェアトレード商品」について、自分の考えや意見、感想を伝え合っている。		○	○	
9	Read and Think2② 世界の人々や国々とのよい関係を築くために必要だと思うことについて考える。	主語を説明する関係代名詞 ・ Many things that we see every day come from overseas.	世界の人々や国々とのよい関係を築くために必要だと思うことについて自分の考えを書きまとめている。		○	○	
10	Unit Activity 地球市民としての抱負を書きまとめる。	自分の考えを伝える表現 ・ I think that... ・ In my opinion,...	国をこえて助け合うことの大切さについて考えるために、地球市民の一人としての抱負を書きまとめている。	○	○	○	
11	Unit Activity 地球市民としての抱負を書きまとめる。	自分の考えを伝える表現 ・ I think that... ・ In my opinion,...	地球市民の一人としての抱負を仲間やALTに発表している。	○	○	○	
12	パフォーマンステスト 地球市民の一人としての抱負やその理由などを即興的にALTに伝える。		地球市民の一人としての抱負やその理由などを即興的にALTに伝えている。	○	○	○	
13	単元テスト			○			

③ Unit6 で活用したい既習表現

・ 不定詞	(例:I try to, I want to...)	【1年生 Unit8】
・ 接続詞	(例:I think that global citizen is...)	【2年生 Unit2】
・ It is ... (for) + to + 動詞の原形	(例:It is important for children in Afghanistan to use school backpacks.)	【3年生 Unit3】

7. 本時展開案

(1) ねらい

教育を受けられない子どもたちの現状を訴えた動画のタイトルを考えたり、その問題解決のために自分たちができることを仲間や ALT に伝えたりすることを通して、Global Citizen についての意味を考えることができる。

(2) 指導展開案 (1 / 13)

生徒の学習活動	評価規準, 指導・援助, 研究との関わり
1. ALT が動画を流す ・日本ユニセフ協会「私たちが学校に通えないのはなぜ？」(YouTube) を視聴する。 2. ALT の発言から本時の課題をつかむ ALT : What do you think is the title of this video? I'll send you this video on your tablet. Let's try to get the title of this movie.	評価規準 主体的に学習に取り組む態度 教育を受けられない子どもたちの現状を訴えた動画のタイトルを考えたり、その問題解決のために自分たちができることを仲間や ALT に伝えたりすることを通して、Global Citizen についての意味を考えようとしている。
3. 課題を確認する Today's Aim 動画のタイトルをつけよう	話すこと[発表]ウ ・1では、教育を受けられない子どもたちの現状を感じられるようにする。
4. 動画のタイトルを考える ・学習支援ツールに送られた動画を見返し、動画で話される英語を聞き取りながら、動画のタイトルを考える。 ・一人で黙々と考えたり、仲間と交流したり、ALT と対話したりしながら考える。 5. ALT' s Question ALT' s Question① What is the title? And why? ・考えたタイトルとその理由を発表する。 STD : The title is "I want to go to school". ALT : Why did you choose that title? STD : Because a little girl said "I want to go to school".	・2では、動画にタイトルをつけようという活動にすることで、動画内の英語に着目できるようにする。 ・4では、学習支援ツールに動画を送り、生徒が必要に応じて活用できるようにする。
6. ALT' s Talk ALT : When I watched this movie, I was shocked. So I want to help solve this problem. What can we do? Please tell me your ideas. ・貧困で学校に通えない問題を解決するために私たちにできることはないかという問いに対して、自分の考えをペアで交流する。 ・自分の考えを発表する。 ・Sharing Time 「言いたいけど、言えない表現」を共有する。	【研究内容2-(1)】 〈個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実〉 4では、動画のタイトルを考えるために、自分で動画を繰り返し見て考えたり、仲間と交流して考えたり、ALT と対話をしながら考えたりする場を設定し、自分で学び方を選択できるようにする。 ・5では、動画につけたタイトルとその理由について自分の考えをペアに伝えたり、全体で共有したりすることによって、様々な考えに触れられるようにする。
7. Write ALT : They are all good ideas. You are taking a step to be a global citizen. This is an action sheet! Let's write your ideas to be a global citizen. At the end of this Unit, you will make your action sheet and you will make a global citizen poster! ・「行動宣言シート」に、貧困で学校に通えない問題について私たちにできることを、書きまとめる。	・6では、5で感じたことを大切にしながら、自分たちにできることは何かを考えさせる。 【研究内容2-(2)】 〈深めの発問〉 6では、貧困問題解決のために私たちにできることをより自分事として考えさせる発問の工夫をする。
I think we can make a poster. I try to draw about poor children who can't go to school. It has some good points for them. First, Japanese people can know about the problems. I want my family and friend to know about it. Second, many people who know this problem may take action to help poor children. They change their feeling.	・7では、世界の問題について自分事として考えることは Global Citizen になるための第1歩だということを ALT が伝える。また、本時で出た生徒の考えの中から ALT がよいと思った生徒の考えを単元のゴールに仕組めるようにする。

第2学年 英語科学習指導案

授業者 後藤 茉奈美

1. 日 時 令和7年11月8日(土) 2時間目
2. 場 所 2年2組教室
3. 学年・組 2年2組(33名)
4. 単 元 名 Unit6 How can we make a good presentation?
5. 単元について

○教材観

本単元では、身近なトピックについて調査を行い、データを比べて発表する方法について取り扱っている。本文では、エディがスポーツについて簡単なアンケートを取ったり、その調査結果についてグラフを用いて発表したりしている。また、そのエディの発表に対してクラスメートがフィードバックを行っている。同様の流れで、身近なトピックについて調査を行い、データを比べて発表する活動を通して、よりよい発表を行うための課題設定力、情報収集・整理力、資料作成力、発表力、評価力といった様々な力の基礎を習得させる機会としたい。

言語材料は、比較級と最上級、<as 原級 as>の表現が扱われている。本単元では、これらの言語材料を習得できるようにするために、「自分にとっての当たり前を検証する」ことを大きなテーマとして、自らそれに迫るための情報収集や結果の整理・分析、発表などを行い、言語活動の中で、比較表現を用いる有用性を感じながら、相手意識や目的意識を高め、自分の考えや気持ちを発信することができる生徒を育成したい。

○生徒観

4月に行ったアンケートでは、「英語が好きか」という質問に対し、本学級の生徒のうち74%が、英語の学習に前向きな感情を抱いている。しかし、26%の生徒は英語の学習に苦手意識があり、その理由は、単語や文法など覚えることが多い、読めない、といった知識や技能面の不安からであることが分かった。授業内での言語活動においては、相手に合わせて表現を選び、自分の言いたいことを英語で伝えようとする姿が多く見られる一方で、伝えたいことはあるが、どのように言ったらよいかが分からず会話を続けられないといった困り感が見受けられる。本時では、学習した文法表現を正しく使用したり、既習の単語を自ら選んで活用したりすることにより、生徒が自信をもって自分の伝えたいことを表現する基盤となる知識及び技能の定着を図る。また、自分の疑問を解決するための学習方法の選択や、仲間の表現を取り入れる協働的な学びなどを通し、表現を身に付ける過程や、それらを使って伝え合う楽しさを、生徒が実感できるようにしたい。

○指導観

内容面

本単元は、教科書の内容を核としながら、テーマをもとに生まれた生徒自身の問いや関心と往還する構造でデザインしている。教科書と実生活を行き来する中で、学びの意味と手応えを実感できる単元構成としている。また、教科書にある表現を足場にしながら、自ら調査し、整理・分析しながら発表する、探究的な学びを位置付けることで、自分の考えや気持ちに自信をもって伝え合うことができる生徒を育成したい。

本時では、英語の掲示コーナーを、より多くの生徒に楽しんでもらえるようにしたいというALTの願いのもと、全校の生徒が楽しめるような比較級クイズを作り、仲間と伝え合う活動を行う。目的に合わせて、クイズの内容を考えたり、自ら調べたりして、探究的な学習をする中で、本単元を通して身に付けたい比較級の表現を、正確に活用できるようにしたい。

言語面

自ら集めた情報をもとに発表する活動を通して、よりよい発表をつくるためには、比較表現を用いてデータを比べながら、発表する必要があることに気付くことができるようにしたい。また、比較級や最上級、原級比較を用いた言語活動を仕組み、具体的な使用場面や相手を意識しながら、生徒の知識及び技能を定着できるようにしたい。

本時では、クイズを作成する際に、自ら単語や表現を教科書等で確認したり、仲間と教え合ったりするなど、生徒が選択した学び方で、比較級の表現への理解を深めていく。また、ペア活動や中間交流を繰り返す中で、仲間の表現に触れたり、自分の表現に取り入れたりすることで、知識及び技能の定着を図っていく。

6. 単元の目標と評価規準

○単元の目標

自分にとっての「当たり前」を調査し、その結果をALTに発表するために、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話すことができる。(10文程度)

○評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自分にとっての「当たり前」を調査し、その結果をALTに発表するために、比較表現を用いた文の形・意味・用法を理解し、正しく使っている。	自分にとっての「当たり前」を調査し、その結果をALTに発表するために、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。	自分にとっての「当たり前」を調査し、その結果をALTに発表するために、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。

単元構造図 単元名：2年生 Unit6 How can we make a good presentation? (NEW HORIZON)

<CAN-DO-LIST>

興味のある話題や人気があるものなどについて紹介するために、その情報や気持ちなどを整理して話すことができる。(10文程度)

<単元で付けたい力>

知識及び技能

自分にとっての「当たり前」を調査し、その結果を ALT に発表するために、比較表現を用いた文の形・意味・用法を理解し、正しく使うことができる。

思考力、判断力、表現力等

自分にとっての「当たり前」を調査し、その結果を ALT に発表するために、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話すことができる。

学びに向かう力、人間性等

自分にとっての「当たり前」を調査し、その結果を ALT に発表するために、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。

単元の課題 自分にとっての「当たり前」を調査し、
その結果について ALT にわかりやすく発表しよう

【生徒作品例】

Hello, Brion! You said you want to know our "normal". I wanted to help you, so I chose "my favorite subject" as my topic. I thought most students like P.E. the best, so I did a survey in my class.

Please look at this graph. 11 students like P.E. the best. 6 students like music. 4 students like social studies. P.E. is the most popular subject. Music is more popular than social studies. But, I heard you like English the best.

I was surprised because only 3 students in my class like English. I think Japanese students enjoy moving more than studying. P.E. is more fun than other subjects for many students. But don't worry. We really love to study English with you. Thank you.

第8,9時(単元まとめの活動) 話すこと【発表】(イ) 思考力、判断力、表現力等

自分にとっての「当たり前」について調査した結果をもとに、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、ALT や仲間とわかりやすく発表する。

知識及び技能

第7時(Read and Think2)

エディの発表に対するフィードバック用紙の内容を読み取り、発表の評価の仕方や原級比較について理解する。

思考力、判断力、表現力等

第6時(Unit Activity②)

第4時の調査結果をもとに、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、ALT や仲間と伝え合う。

知識及び技能

第5時(Read and Think1)

エディのスポーツについての発表を読み取ることで、データを用いた発表の仕方を理解する。

思考力、判断力、表現力等

第4時(Unit Activity①)

単元終末の発表のために、仲間とのインタビュー活動を通して、「当たり前」について調査を行う。

知識及び技能

第3時(Part2)

エディとアナの会話から、インタビューのやりとりについて読み取り、それに伴う more や most を用いた比較級と最上級の比較表現について理解する。

第2時(Part1)【本時】

英語の掲示コーナーを多くの生徒に楽しんでもらうために、比較級クイズを作って仲間と伝え合い、-er や -est を用いた比較級と最上級の比較表現について理解する。

第1時(オリエンテーション)

「自分にとっての『当たり前』を調査し、その結果について ALT にわかりやすく発表する」という単元を貫く課題を理解し、単元の見通しをもつ。

<この単元で活用したい主な既習の言語材料>

- ・[1年 Unit3・6] 疑問詞を用いた疑問文(例: What do you~?/ Which do you~?)【インタビュー活動】
- ・[2年 Unit2] 接続詞(例: I think that ~.)【まとめの発表】
- ・[2年 Unit3] 不定詞(例: I tried a survey to help ~.)【まとめの発表】

2年生 Unit6 How can we make a good presentation? (NEW HORIZON) 見通し表

① Unit 6 の目標

自分にとっての「当たり前」を調査し、その結果について ALT にわかりやすく発表しよう

② Unit 6 の授業計画

計画	学習内容	習得したい表現	評価規準	評価の観点			振り返り／学んだこと
				知技	思判表	主体	
1	オリエンテーション 単元の見通しをもつ。		「自分にとっての『当たり前』を調査し、その結果について ALT にわかりやすく発表する」という単元を貫く課題を理解し、単元の見通しをもっている。			○	
2	Part1【本時】 トリビアクイズの内容を読み取り、それをもとに仲間と実際に比較を用いたクイズを出し合う。	比較級, 最上級 ・ A volleyball is smaller than a basketball. ・ A volleyball is the smallest of the three.	-er や -est を用いた比較級と最上級の比較表現について理解し、活用している。	○		○	
3	Part2 エディとアナの会話から、インタビューのやりとりについて読み取る。	more, most を用いた比較級, 最上級 ・ This sport is more interesting than that one. ・ This sport is the most interesting sport of all.	more や most を用いた比較級と最上級の比較表現について理解し、活用している。	○		○	
4	Unit Activity① 知りたい内容のインタビュー調査を行う。	比較級, 最上級を用いた疑問文 ・ What subject do you like the best? ・ Which is more exciting, USJ or Disney Land?	単元終末の発表のために、仲間とのインタビュー活動を通して、学習した表現をもとに情報収集を行っている。		○	○	
5	Read and Think I エディのスポーツについての発表を読み取る。	good・well・very much の比較級, 最上級 ・ Many of our classmates like other sports better than basketball. ・ Seven of them like tennis the best.	データを用いた発表の仕方や、不規則変化の比較表現について理解している。	○		○	

計画	学習内容	習得したい表現	評価規準	評価の観点			振り返り／学んだこと
				知技	思判表	主体	
6	Unit Activity② 調査結果をもとに、発表内容を整理し、構成する。	<u>具体的な数値を用いたまとめ方</u> ・ More than half of our classmates get up by 8 o'clock on weekends.	情報収集したデータをもとに、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、ALT や仲間と伝え合っている。		○	○	
7	Read and Think 2 エディの発表に対するフィードバック用紙の内容を読み取る。	<u>同格の比較級</u> ・ Soccer is as popular as tennis. <u>序数＋比較級の表現</u> ・ It is the second popular sport.	発表の評価の仕方や、原級比較について理解している。	○		○	
8	Unit Activity③ グループ内で発表を行い、仲間とフィードバックを行う。	<u>事実や根拠を伝える表現</u> ・ According to my result,... ・ I found that... <u>自分の考えを伝える表現</u> ・ I was surprised that...	自分にとっての「当たり前」の調査結果について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、仲間にわかりやすく発表している。	○	○	○	
9	Unit Activity④ フィードバックをもとに、発表内容を再構築し、ALT に向けて発表を行う。	<u>事実や根拠を伝える表現</u> ・ According to my result,... ・ I found that... <u>自分の考えを伝える表現</u> ・ I was surprised that...	自分にとっての「当たり前」の調査結果について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、ALT にわかりやすく発表している。	○	○	○	
10	単元テスト			○			

③ Unit6 で活用したい既習表現

- | | | |
|--------------|--|--------------|
| ・ 疑問詞を用いた疑問文 | (What / Which / What time / How many ○○ do you～?) | 【1年生】 |
| ・ 接続詞 | (because / if / when / that) | 【2年生 Unit 2】 |
| ・ 不定詞 | (例 I asked my classmates to know …) | 【2年生 Unit 3】 |

7. 本時展開案

(1) ねらい

英語コーナーに掲示するために全校の生徒が楽しめるようなクイズを作る活動を通して、比較の文のきまりや使い方を理解し、身の回りの物や人を比べて特徴や違いを表しながら、仲間と伝え合うことができる。

(2) 指導展開案 (2/9)

生徒の学習活動	評価規準, 指導・援助, 研究との関わり
1. 帯活動 (べらべら英単語) - 単元で学習する単語や語句, 表現の定着を図る。 2. Oral Introduction (Teacher' s talk) - ALT の発言から, 比較の文の作り方と本時の活動について理解する。 Look at this poster. I made a quiz to put the English corner. I hope that more students and teachers will enjoy seeing it. I want to make more quizzes but I don't have any ideas. So, I need your help. This is my example. Please make quizzes like this. 3. 課題を確認する Today's Aim 英語コーナーに掲示する, 全校の生徒が楽しめるようなクイズを作ろう 4. Search - 身の回りの物の中から興味のあるものを選んで実際に測定したり, 出題したいジャンルについて自分で調べたりして, クイズを通して仲間に伝えたいことを考える。 5. Pair Activity (Round 1) - 自分で調べたことをもとに, 比較クイズを出し合う。 6. Sharing Time - Round 1 の中で「言いたいけど言えなかった」表現を共有する。 - 比較級の文の語順や形容詞の語尾の変化に着目しながら, 文法事項の理解を深め, 正しくクイズが出題できるように表現を修正する。 - 仲間の発表を聞いて, 動詞や他の形容詞を用いた比較の表現を理解し, 必要に応じて取り入れながら, 新たなクイズを作る。 7. Pair Activity (Round 2) STD① : Which is heavier, the social studies textbook or the Japanese textbook? STD② : Let me see. I think the social studies textbook is heavier. STD① : That's right. The social text book is heavier than the Japanese one. STD② : Wow, I didn't know that. 8. Reading - 教科書の本文を音読し, 比較の文の使い方や正しい語順を確認する。 9. Writing - 活動で使った表現をもとに, 多くの仲間が見られるように, クイズカードを作る。 Which is heavier, the social text book or the Japanese textbook? → The social text book is heavier than the Japanese one. I think our school textbooks are heavy. 10. 本時の学習を振り返る - 本時の学習で分かったことや, 使った英語表現を, シートに記録する。 - 本時学んだ表現を, 単元の課題にどのように繋げていくか, 見通しをもつ。	評価規準 知識・技能 英語コーナーに掲示するために全校の生徒が楽しめるようなクイズを作る活動を通して, 比較の文のきまりや使い方を理解し, 身の回りの物や人を比べて特徴や違いを表しながら, 仲間と伝え合っている。 話すこと [やり取り] イ 2 では, 視覚的な情報を示したり, スライドに ALT が作ったクイズの例示をしたりすることで, 生徒が活動内容を理解できるようにする。 4 では, 形容詞の変化表やデジタル教科書を使用して, 基本的な知識を確かめたり, ALT や仲間に質問をして疑問を解決したりするなど, 選択的に学びを進められるようにする。 【研究内容 2- (1)】 <個別最適な学びと協働的な学び> 比べる対象を自ら選んでクイズを作る過程で, 伝えたいことへの関心を高め, 正しい比較の表現を使って仲間と伝え合うために, 複数の方法から自分の求める学び方を選択し, 全員がクイズを作成できるようにする。 5 では, 活動前に教師によるデモンストレーションを見せることで, 活動の進め方を明確にし, 生徒が安心して活動を始められるようにする。 8 では, 比較表現に着目させたり, デジタル教科書での視覚支援を行ったりと, 比較の文構造の理解と知識の定着を促す。 【研究内容 2- (2)】 <表現の再構築> ペア活動で得た表現を共有することで, 語彙や文の構成の理解を深め, 表現の幅を広げる。 9 では, 教科書の本文を見ながら書くことを促すことで, 正しい語順で比較表現を使うことができるようにする。

第2学年 英語科学習指導案

授業者 藤田 祐

1. 日 時 令和7年11月8日(土) 3時間目
2. 場 所 2年4組教室
3. 学年・組 2年4組(32名)
4. 単 元 名 Unit 6 How can we make a good presentation?
5. 単元について

○教材観

本単元では、身近なトピックについて調査を行い、データを比べて発表する方法について取り扱っている。本文では、エディがスポーツについて簡単なアンケートを取ったり、その調査結果についてグラフを用いて発表したりしている。また、そのエディの発表に対してクラスメートがフィードバックを行っている。同様の流れで、身近なトピックについて調査を行い、データを比べて発表する活動を通して、よりよい発表を行うための課題設定力、情報収集・整理力、資料作成力、発表力、評価力といった様々な力の基礎を習得させる機会としたい。

言語材料は、比較級と最上級、<as 原級 as>の表現が扱われている。本単元では、これらの言語材料を習得できるようにするために、「自分にとっての当たり前を検証する」ことを大きなテーマとして、自らそれに迫るための情報収集や結果の整理・分析、発表などを行い、言語活動の中で、比較表現を用いる有用性を感じながら、相手意識や目的意識を高め、自分の考えや気持ちを発信することができる生徒を育成したい。

○生徒観

本学級の生徒は、課題に向かい、学習した表現を理解したり、活用したりしようとする生徒が多い。また、身近な話題や他者との関わりを通して、英語を用いる楽しさや必要性を感じながら、学習に取り組んでいる。一方で、文法や語彙の面での不安から、英語を苦手と感じている生徒もいる。そのため、自分の考えや気持ちを英語で発信することに消極的になる場面が見られる。また、自分のことを発信することに精一杯で、相手意識が十分でない、一方的な発信ややり取りにとどまることがある。

そこで、自らが「知りたい」と思えるテーマ設定を行い、そのテーマをもとに自己決定した課題を解決していく探究的な学びのプロセスを取り入れる。それにより、「何を伝えるか」を自ら選び取り、「どう伝えるか」を考える経験に繋げたい。このようなプロセスの中で、自分の考えや気持ちを発信することに自信を生み出し、相手意識を高めた発信ができる生徒を育成していきたい。

○指導観

内容面

本単元は、教科書の内容を核としながら、テーマをもとに生まれた生徒自身の問いや関心と往還する構造でデザインしている。教科書と実生活を行き来する中で、学びの意味と手応えを実感できる単元構成としている。また、教科書にある表現を足場にしながら、自ら調査し、整理・分析しながら、発表する探究的な学びを位置付けることで、自分の考えや気持ちに自信をもって伝え合うことができる生徒を育成したい。

本時では、前時までのインタビュー活動で得た調査結果について、仲間と伝え合う活動を行う。単に結果を伝え合うだけでなく、単元末の発表を見据えて、ALTの困り感を再確認することで、相手意識や目的意識を高め、自分の気持ちや考えを加えた発表ができるようにしたい。

言語面

自ら集めた情報をもとに発表する活動を通して、よりよい発表をつくるためには、比較表現を用いてデータを比べながら、発表する必要があることに気付くことができるようにしたい。また、比較級や最上級、原級比較を用いた言語活動を仕組み、具体的な使用場面や相手を意識しながら、生徒の知識及び技能を定着できるようにしたい。

本時では、話す内容を考える際に、考えるための言語材料を複数提示したり、学びの場を整えたりすることで、生徒が考える方法を自己選択できるようにする。考えた内容を仲間と交流することを繰り返し、話す内容を再構築することで、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図っていく。その一連の過程を通して、生徒が習得する表現をより豊かにし、知識及び技能を定着できるようにしていきたい。

6. 単元の目標と評価規準

○単元の目標

自分にとっての「当たり前」を調査し、その結果をALTに発表するために、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話すことができる。(10文程度)

○評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自分にとっての「当たり前」を調査し、その結果をALTに発表するために、比較表現を用いた文の形・意味・用法を理解し、正しく使っている。	自分にとっての「当たり前」を調査し、その結果をALTに発表するために、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。	自分にとっての「当たり前」を調査し、その結果をALTに発表するために、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。

単元構造図 単元名：2年生 Unit6 How can we make a good presentation? (NEW HORIZON)

<CAN-DO-LIST>

興味のある話題や人気があるものなどについて紹介するために、その情報や気持ちなどを整理して話すことができる。(10文程度)

<単元で付けたい力>

知識及び技能

自分にとっての「当たり前」を調査し、その結果を ALT に発表するために、比較表現を用いた文の形・意味・用法を理解し、正しく使うことができる。

思考力、判断力、表現力等

自分にとっての「当たり前」を調査し、その結果を ALT に発表するために、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話すことができる。

学びに向かう力、人間性等

自分にとっての「当たり前」を調査し、その結果を ALT に発表するために、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。

単元の課題 自分にとっての「当たり前」を調査し、
その結果について ALT にわかりやすく発表しよう

【生徒作品例】

Hello, Brion! You said you want to know our "normal". I wanted to help you, so I chose "my favorite subject" as my topic. I thought most students like P.E. the best, so I did a survey in my class.

Please look at this graph. 11 students like P.E. the best. 6 students like music. 4 students like social studies. P.E. is the most popular subject. Music is more popular than social studies. But, I heard you like English the best.

I was surprised because only 3 students in my class like English. I think Japanese students enjoy moving more than studying. P.E. is more fun than other subjects for many students. But don't worry. We really love to study English with you. Thank you.

第8,9時(単元まとめの活動) 話すこと【発表】(イ) 思考力、判断力、表現力等

自分にとっての「当たり前」について調査した結果をもとに、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、ALT や仲間とわかりやすく発表する。

知識及び技能

第7時(Read and Think2)

エディの発表に対するフィードバック用紙の内容を読み取り、発表の評価の仕方や原級比較について理解する。

思考力、判断力、表現力等【本時】

第6時(Unit Activity②)

第4時の調査結果をもとに、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、ALT や仲間と伝え合う。

知識及び技能

第5時(Read and Think1)

エディのスポーツについての発表を読み取ることで、データを用いた発表の仕方を理解する。

思考力、判断力、表現力等

第4時(Unit Activity①)

単元終末の発表のために、仲間とのインタビュー活動を通して、「当たり前」について調査を行う。

知識及び技能

第3時(Part2)

エディとアナの会話から、インタビューのやりとりについて読み取り、それに伴う more や most を用いた比較級と最上級の比較表現について理解する。

第2時(Part1)

英語の掲示コーナーを多くの生徒に楽しんでもらうために、比較級クイズを作って仲間と伝え合い、-er や -est を用いた比較級と最上級の比較表現について理解する。

第1時(オリエンテーション)

「自分にとっての『当たり前』を調査し、その結果について ALT にわかりやすく発表する」という単元を貫く課題を理解し、単元の見通しをもつ。

<この単元で活用したい主な既習の言語材料>

- ・[1年 Unit3・6] 疑問詞を用いた疑問文(例: What do you~?/ Which do you~?)【インタビュー活動】
- ・[2年 Unit2] 接続詞(例: I think that ~.)【まとめの発表】
- ・[2年 Unit3] 不定詞(例: I tried a survey to help ~.)【まとめの発表】

2年生 Unit6 How can we make a good presentation? (NEW HORIZON) 見通し表

① Unit 6 の目標

自分にとっての「当たり前」を調査し、その結果について ALT にわかりやすく発表しよう

② Unit 6 の授業計画

計画	学習内容	習得したい表現	評価規準	評価の観点			振り返り／学んだこと
				知技	思判表	主体	
1	オリエンテーション 単元の見通しをもつ。		「自分にとっての『当たり前』を調査し、その結果について ALT にわかりやすく発表する」という単元を貫く課題を理解し、単元の見通しをもっている。			○	
2	Part1 トリビアクイズの内容を読み取り、それをもとに仲間と実際に比較を用いたクイズを出し合う。	<u>比較級, 最上級</u> ・ A volleyball is smaller than a basketball. ・ A volleyball is the smallest of the three.	-er や -est を用いた比較級と最上級の比較表現について理解し、活用している。	○		○	
3	Part2 エディとアナの会話から、インタビューのやりとりについて読み取る。	<u>more, most を用いた比較級, 最上級</u> ・ This sport is more interesting than that one. ・ This sport is the most interesting sport of all.	more や most を用いた比較級と最上級の比較表現について理解し、活用している。	○		○	
4	Unit Activity① 知りたい内容のインタビュー調査を行う。	<u>比較級, 最上級を用いた疑問文</u> ・ What subject do you like the best? ・ Which is more exciting, USJ or Disney Land?	単元終末の発表のために、仲間とのインタビュー活動を通して、学習した表現をもとに情報収集を行っている。		○	○	
5	Read and Think I エディのスポーツについての発表を読み取る。	<u>good・well・very much の比較級, 最上級</u> ・ Many of our classmates like other sports better than basketball. ・ Seven of them like tennis the best.	データを用いた発表の仕方や、不規則変化の比較表現について理解している。	○		○	

計画	学習内容	習得したい表現	評価規準	評価の観点			振り返り／学んだこと
				知技	思判表	主体	
6	Unit Activity②【本時】 調査結果をもとに、発表内容を整理し、構成する。	<u>具体的な数値を用いたまとめ方</u> ・ More than half of our classmates get up by 8 o'clock on weekends.	情報収集したデータをもとに、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、ALT や仲間と伝え合っている。		○	○	
7	Read and Think 2 エディの発表に対するフィードバック用紙の内容を読み取る。	<u>同格の比較級</u> ・ Soccer is as popular as tennis. <u>序数＋比較級の表現</u> ・ It is the second popular sport.	発表の評価の仕方や、原級比較について理解している。	○		○	
8	Unit Activity③ グループ内で発表を行い、仲間とフィードバックを行う。	<u>事実や根拠を伝える表現</u> ・ According to my result,... ・ I found that... <u>自分の考えを伝える表現</u> ・ I was surprised that...	自分にとっての「当たり前」の調査結果について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、仲間にわかりやすく発表している。	○	○	○	
9	Unit Activity④ フィードバックをもとに、発表内容を再構築し、ALT に向けて発表を行う。	<u>事実や根拠を伝える表現</u> ・ According to my result,... ・ I found that... <u>自分の考えを伝える表現</u> ・ I was surprised that...	自分にとっての「当たり前」の調査結果について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、ALT にわかりやすく発表している。	○	○	○	
10	単元テスト			○			

③ Unit6 で活用したい既習表現

- | | | |
|--------------|--|--------------|
| ・ 疑問詞を用いた疑問文 | (What / Which / What time / How many ○○ do you～?) | 【1年生】 |
| ・ 接続詞 | (because / if / when / that) | 【2年生 Unit 2】 |
| ・ 不定詞 | (例 I asked my classmates to know …) | 【2年生 Unit 3】 |

7. 本時展開案

(1) ねらい

ALT の「日本の中学生の当たり前を教えて欲しい」という要望に対して、事前のインタビュー活動で集めた情報をもとに、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、ALT や仲間と話することができる。

(2) 指導展開案 (6/9)

生徒の学習活動	評価規準, 指導・援助, 研究との関わり
1. 帯活動 (Speed Input) ・単元で学習する単語や語句, 表現を確認する。	評価規準 思考・判断・表現 ALT の「日本の中学生の当たり前を教えて欲しい」という要望に対して、事前のインタビュー活動で集めた情報をもとに、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、ALT や仲間と話している。 話すこと [発表] イ
2. Teacher's Talk ALT : Hi! When I first came to Japan, I noticed many things that were different from my country. For example, many of you eat rice for breakfast. That was surprising to me! But I still don't know what is "normal" for Japanese students. What do you usually do? What do you usually eat? What do you think is common or usual? Sometimes, I feel confused because I don't understand your "当たり前". So, please teach me about your "当たり前". I want to understand your life better. I'm looking forward to your presentations. Thank you!	・2では、ALT の「日本の中学生の当たり前を教えて欲しい」という要望を再確認することで、調査結果について ALT に向けて伝えるための一単位時間であることを確認し、本時の活動への必然性をもたせる。
3. 課題を確認する Today's Aim 調査結果を整理し、分かったことや考えたことを ALT に伝えよう	【研究内容2-(1)】 <個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実> 4では、ヒントカードを用意したり、内容を考えるための環境を自己選択できるようにしたりすることで、調査結果を様々な視点で分析し、話す内容を整理して、次の活動に臨めるようにする。
4. Let's Think ・第4時のインタビュー活動で得た調査結果をもとに、話す内容を考える。	・5では、話す相手を ALT と想定させることで、相手意識を高めた発表に近付けるようにする。また、活動を繰り返すことを通して、仲間の表現のよさに気付いたり、自分の内容に自信をもったりできるようにする。
5. Let's Talk I (Round 1) ・考えた内容を仲間と伝え合い、ペアを変えてその活動を繰り返す。 ・ペアの発表に対してコメントをする。	【研究内容2-(2)】 <深めの発問> 6では、本時の課題や単元末での発表相手を確認することを通して、発表の目的意識や相手意識を高め、結果だけでなく、考えや気持ちを話すことで、話す内容を深められるようにする。
6. Sharing Time (中間交流) ・Round1での発表の様子を交流し、「言いたいけど言えない」表現を共有する。 ・仲間と発表の様子を共有したり、本時の課題や発表の相手を再確認したりして、話す内容を再構築する。	・7では、最初のペアでもう一度発表を行い、ペアの相手からコメントをもらったり、発表を動画に撮って、自分で見返せるようにしたりして、本時での自己の変容を感じられるようにする。
ALT : Do you tell the result for me?	
7. Let's Talk2 (Round 2) ・中間交流を生かし、ペアを変えながら活動を繰り返す。 ・最初のペアに戻り、互いに発表の動画を撮り合う。	【研究内容1-(2)】 <内容面と言語面の積み上げ> 8では、毎時間の振り返りを通して、本時の成果を実感したり、単元のゴールへのつながりを感じられたりするようにする。
8. 本時の学習を振り返る ・自分や仲間の動画を見返し、本時の振り返りを書く。 ・どうしたらよりよい発表になるかを考え、次回の見通しをもつ。	